

5月の祭典行事について



熱田神宮宮庁総務課 名古屋市長熱田区神宮1-1-1
T e l 0 5 2 (6 7 1) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 (6 8 1) 0 5 3 8

公式HP

新緑に映える平安の雅

舞楽神事(ぶがくしんじ)

5月1日(月)
午前10:30～午後3:00
神楽殿前庭

祭典・神事

神楽殿前庭に舞台を設け、当神宮職員及び熱田神宮桐竹会(祭典の奏楽奉仕団体)会員の奉仕により、舞楽を熱田大神様に奉納します。



○演目は、振鉾(えんぶ)・賀殿(かてん)・地久(ちきゅう)・春庭花(しゅんていか)・白浜(ほうひん)・迦陵頻(かりょうびん)・蘭陵王(らんりょうおう)・落躰(らくそん)・長慶子(ちやうげいし)の計9曲です。

神主さんが歡喜笑樂

醉笑人神事(えようどしんじ)

5月4日(木)
午後7:00
境内各所

祭典・神事

俗に「オホホまつり」「於賀斯(おかし)まつり」とも呼ばれます。祭員ひとりひとりが神面を装束の袖に隠し持ち、内2人が袖の上から中啓でその神面を叩いて「オホ・オホ」と唱えます。その後、笛を合図に全員が大声をあげて笑うという、珍しい神事です。

神事は影向間社・神楽殿・別宮・清雪門の4ヶ所で行われます。



○この神事は、故あって天智天皇7年(668)から皇居に奉斎されていた草薙神剣が、天武天皇朱鳥元年(686)に再び当神宮に還座されたのを、当時の神宮関係者が歡喜笑樂したという故事を今に伝えるものです。

王朝絵巻を今に再現

神輿渡御神事(しんよとぎよしんじ)

5月5日(金)
午前10:00
本宮～正参道～西門

祭典・神事

雅やかな装束をつけた約100名の奉仕者が御神宝を捧持し、神輿(みこし)を中心に行列を整え、本宮から正参道・南門を経て鎮皇門(ちんこうもん)跡の西門まで進み、遙かに皇居を望み、皇室の御安泰と国家の隆昌を祈念致します。



○この神事は、草薙神剣が皇居から当神宮に還座された時の御神託にもとづいて、鎮皇門から都の方を御覧になって皇城镇護のお祭りを齋行した故実を今に伝えるものです。



今年の作柄は如何に？

豊年祭—花の撓(はなのとう)

この祭典は、日本武尊が御東征の折、当地方に農耕・養蚕・培綿の技術を伝えられた御神徳を称えるものです。県内各地の農業関係者等は、祭典後西楽所に奉飾された陸田の畑所と水田の田所との「おためし」(模型)、或いは当神宮で頒布する絵図を見て、自ら今年の作柄を占います。「おためし」は13日までご覧いただけます。

○5月5日～14日まで、境内中央手水舎付近にて植木・花苗・農産物の販売や樹木相談等を行います。

5月8日(月)

午前8:00

本宮(おためしは西楽所)

祭典・神事



熱田講社の春まつり

熱田講社春季大祭

愛知県を中心に全国各地、約30,000名の崇敬者を結集して組織した、「熱田講社」の春季大祭を執り行います。講員が参列し、御神徳の宣揚と産業殖産、家業の繁栄とを祈ります。

5月9日(火)

午前11:00

本宮

祭典・神事



神様のころも替え

御衣祭(おんぞさい)

御神前に御衣御料(絹布や麻布等)をお供えし、衣料業界の発展をお祈りする祭典です。東門から「大一御用」の大幟を先頭に、御衣奉獻使が神御衣奉獻会会員・稚児等を従え、華やかな行列で本宮に参進いたします。本年の御衣奉獻使は、信友(株)取締役近藤博氏です。

5月13日(土)

午前11:00

本宮

祭典・神事





井戸をのぞいて成育祈願

高座結御子神社例祭宵宮祭

5月31日(水)

午後5:00

高座結御子神社(境外摂社)

祭典・神事

「虫封じ」「井戸のぞき」で知られ、子育ての神様として信仰が篤い高座結御子神社の例祭(6月1日)の宵宮祭を前日に行います。このお祭りは疫病除けの意味もあり、当地方で一番早い夏祭りといわれています。



ちびっ子画伯集まれ

第69回熱田神宮神苑写生大会

5月5日(金)

午前9:00～午後3:00

境内一円

行事

幼稚園児・小中学校生を対象に、境内一円で多くの皆様にご参加いただいております写生大会を開催致します。参加希望の方は、当日文化殿前の受付へお越し下さい。



○雨天の場合は5月6日(土)に延期となります。
5月6日が雨天の場合は中止。

第55回さつき展

さつき奉献会 さつき奉献

5月26日(金)～5月28日(日)

花席

行事

さつき奉献会(会長 石井 孝 氏)会員によるさつき展を開催致します。期間中は会員が丹精を注いだ見事なさつき約30鉢を展示します。





熱田神宮宝物展

コーナー展「熱田の武器・武具」

4月28日(金)～5月23日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

当神宮の御神体が草薙神剣である由縁から刀剣類の奉納は群を抜いていますが、刀剣以外にも甲冑、また弓馬術に因む逸品が奉納されています。

今回は、古代から現代に至る武器・武具を展示し、その洗練された機能美を紹介します。(展示品数 約70点)

主な展示品

【重文】古神宝類 黒漆根古志形鏡台・古神宝類 黒漆平胡籙、日本書紀 卷第十、金銅装唐鞍

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで



剣の宝庫 草薙館 刀剣展

「武将ゆかりの刀剣」

4月26日(水)～5月22日(月)

午前9:00～午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

主な展示品

- 【重文】太刀 銘 備州長船兼光
【重文】太刀 銘 元弘三年六月一日実阿作
【県文】脇指 銘 吉光／亀王丸(号 蜘蛛切丸)
【県文】脇指 無銘 (号 あざ丸)

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで



文化講座

『明日へのあゆみ』-くらしとしくみ-

5月20日(土)

午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

演題

時代を動かした天皇の言葉

講師

國學院大學 名誉教授・古宮神社 宮司 茂木貞純氏



○聴講無料。講演は再度変更になる可能性があります。